

11月11日は山下公園の「赤い靴はいてた女の子像」の38回目の誕生日でした。像が完成した当時、除幕式前夜の「明日は晴れてほしい」という願いも空しく、嵐のような雨風で当日を迎えました。しかし、午後から天気が回復するという予報と、42992名にも上る直接協力者の皆様も一様に雨が止むのを願ってくれているという思いに一縷の望みを抱いて除幕式会場へ向かいました。山下公園に到着すると、小降りになっていた雨がすっかり止んだのです。正に奇跡のような瞬間でした。正午には雲が急ぎ足で去り、風も穏やかさを取り戻すと、鮮やかな青い絵の具を塗ったような空へと変わっていききました。驚きと喜びに包まれた山下公園で、1979年の11月11日、コペンハーゲンの人魚姫、ブリュッセルの小使小僧に並ぶ世界三大メルヘン像が誕生したのです。細郷道一市長、金田一春彦先生、そして人魚姫像の建つデンマーク、小使小僧の建つベルギーの大使館員のご挨拶と続きましたが、寺内タケシさんが音響設備に役立ててほしいとステージカーを用意してくれました。交通整理を担当したボーイスカウト・ガールスカウト、コーラスを披露した横浜少年少女合唱団、各団体の代表のこども達が除幕を行うのに合わせ、沖では消防局の消火艇が七色に彩られた水煙を上げる放水ショーが始まり、会場に集まった人々を魅了しました。氷川丸、当時デビューしたばかりの観光船「あかいくつ号」(今のマリオンシャトル)や停泊中の船舶が一斉に汽笛を鳴らし、赤い靴像の誕生を祝福してくれたのです。後に、赤い靴に関心を示されていた故・三笠宮崇仁親王に、金田一先生と一緒にこのお話をすると「私も観たかったな。呼んでくれればよかったのに」と残念そうにおっしゃっていました。

赤い靴はいてた女の子像建設に向けて運動をしていた頃、小さな女の子から電話でこのような質問をされました。「異人さんの国に行っちゃったのに、なぜ日本に像を建てるの?」しかし「そうだね。君の言うことももつともだね」と話していると、突如電話が切れてしまいました。公衆電話から掛けてくれたのです。無情にも10円が切れたのでしよう。名前も住所も聞けずじまいになり大変心残りでしたが、今は大人になり、お子さんと一緒に像を見ているかもしれないと思うと感慨深いですが、確かにアメリカに像を建てるということについて気にかけてはいたのです。後に横浜・サンディエゴ姉妹都市委員会より、是非サンディエゴとの姉妹都市提携50周年のモニュメントとして、現地に赤い靴の女の子像が欲しいと提案されました。時は横浜開港150周年という記念の年でもありましたので、大勢の方に賛同をいただきました。像の作者である彫刻家の山本正道先生は、サンディエゴにも全く同じ像を建てた方が意義深いのだらうと思うが、自分の望みを言うならば、横浜の赤い靴はいてた女の子像が世界にひとつであってほしいとおっしゃいました。その通りだと思いい、デザインを変えることになりましたが、赤い靴をはいて歌う赤い靴ジュニアコ



←ヨコハマメルヘン風景
左下/姉妹都市アニバーサリー
サンディエゴ60周年・
コンスタンツァ40周年
クイーンズサークル

◎ 近代水道創設130年記念公演 ◎ 横浜市南公会堂
横浜市民ミュージカル「アクアの肖像～ある家族の物語～」
2018年2月11日(日・祝) ①14時 ②18時
12日(月・振休) ③12時 ④16時(全4回)
一般2,200円 高校生以下1,200円 チケット発売 12/11(月)



今後のスケジュール

12/9(土) 第5回 磯子音楽祭 14:00開演 いそこの風・磯子の海 合唱 赤い靴ジュニアコーラス 全員出演
12/23(土・祝)・24(日) 17時・19時 クリスマスキャロル 赤い靴ジュニアコーラス赤隊 インターコンチネンタルホテル ロビー
12/31(日) 12:45～翌0:15 ヨコハマメルヘン 参加歓迎(無料) 除夜の汽笛とともに童謡を歌いましょう 山下公園 赤い靴はいてた女の子像周辺
1/28(日) 神奈川県地劇ミュージカル 公開コンパ 県立青少年センターホール 横浜市民子どもミュージカル 出演
2/11(日・祝) 2/12(月・振休) 横浜市南公会堂 横浜市民ミュージカル「アクアの肖像」 4回公演 12月11日チケット発売
3/31(土) クイーンズスクエア横浜 おぎゃー献金 愛のコンサート 赤い靴ジュニアコーラス 全員 詳細は後日

ラスが、新たな像のイメージに相応しいということ、ジュニアコーラスのユニフォーム姿の女の子像が建てられたのです。サンディエゴの委員会の協力により、横浜の像と全く同じスウェーデン御影石の台座を寄付していただきました。除幕式にはザ・シワクチャーズの団員10名ほどと私が出席し、ジュニアコーラスOGの田島実季さんも制服姿で参加し、心温まる式典とパーティーで両国民がお祝いしました。そして、先日横浜市国際局の主催でクイーンズスクエア横浜にて姉妹都市提携サンディエゴ60周年・コンスタンツァ40周年のイベントが行われ、赤い靴ジュニアコーラスが合唱を披露したのです。皆嬉しそうな顔をしながら精一杯歌う姿に胸が熱くなりました。主催者の方も電話で「本当によかったです」とおっしゃっていました。当日はルーマニアの民族楽器・パンフルートの演奏や、サンディエゴ観光親善大使の武田久美子さんによるトークショーも行われました。国際交流はずっと続けていきたいですね。

赤い靴ジュニアコーラスは、その後12月9日(土)に磯子区制90周年記念の磯子音楽祭で「いそこの風」「磯子の海」を歌います。横浜市民ミュージカルの稽古も佳境に入ってきました。それぞれ役をもらい、自分のキャラクターを押し出した演技をする方、まさか自分がこの役になると思わなかったと驚きつつ役に徹しようとする方と様々です。人が人を演じると言ってしまうえば簡単なのですが、お芝居ならではの非日常的なシチュエーションに戸惑いながらも見事にこなしていますね。よい作品になるという予感をひしひしと感じます。チケットは12月11日(月)発売となります。多くの人に観ていただけることを願っております。また、この作品を通じて横浜近代水道の歴史を知り、水の大切さについて理解を深めることでしょうか。ジュニアコーラス出演のインターコンチネンタルホテルのクリスマスキャロルが、今年で25年目を迎えます。12月23日(土・祝)と24日(日)それぞれ17時と19時の2回公演を行います。是非お越しください。駐車場が心配ですので、公共の交通機関をご利用いただければ幸いです。大晦日には恒例のヨコハマメルヘンで、童謡を翌年へと歌い継ぎます。23時45分～翌0時15分に、山下公園の赤い靴はいてた女の子像前にお集まりください。2017・11・30 団長 松永春